

上越ケーブルビジョン

令和2年度 第1回 JCV放送番組審議会議事録

日時：令和2年10月8日（木）14:00～15:00

場所：JCV2F 会議室

出席者 審議委員表記順：会長、副会長、委員（五十音順）

○直原 幹 会長 ○横山 裕孝 副会長 ○大橋 愛 委員

○松野 千恵 委員 ○関原 英里子 委員

欠席 ○小林 隆浩 委員

（上越ケーブルビジョン）

○常務取締役 尾崎 正弘

○メディアセンター 部長 福嶋良章

○メディアセンター 放送制作課兼ウェブ事業課 課長 佐藤康司

○メディアセンター 放送制作課 課長 沢田真紀

1、開会

2、挨拶 上越ケーブルビジョン 常務取締役 尾崎 正弘

3、放送番組審議会進行内容説明

4、会長、副会長、各委員 ご挨拶

5、議事

（1）レギュラーパン組について

＜事務局から説明＞

■L字放送の新しいシステム導入について

文字を手動で入力せずに自動で送出できる、新しい緊急放送システム。

Lアラートなどと連携し発信された情報が自動でテレビに送出される

地震や大規模災害、火災の情報なども瞬時にいち早く、自動的に発信できるようになった。市民の皆さんに必要な情報をすぐさまお届け出来る。

「ニュース LiNK」

平日夕方6時半から毎日放送 30分尺

地域の話題を取り材し、スタッフ数人で毎日6本くらい放送している

■「新型コロナウイルス関連」の話題紹介

ニュースの中で情報を伝える流れについて。

県が記者会見で発表した内容をネットの情報などで受け、第一報としてL字など

で伝える。その後、上越市が記者発表した情報を改めてニュースで伝える。

常に夕方の慌ただしい中での記者会見になるが、何とかその日のうちに発信しようと取り組んでいる。同時にラジオ・ネットのチームと情報を共有し、毎日情報を発信していた。その中で、やはり誹謗中傷や個人の問題もあり、どこまで取材し動いてよいものか模索しながら発信を続けてきた。L字の導入によりいち早く情報を伝えることができたことで、市民や医療関係者からも感謝の声をいただいている。日頃のニュース取材に関してはマスクや消毒など感染症対策の徹底をし、取材を続けている。

■日々のニュースについて

市民の関心をどれだけキャッチ出来るかと考え動いている。GOto キャンペーンの影響などについても動いている。引き続き地域の状況を察知しながら、求められる情報を発信したい。今後は特に特集に力を入れていきたい。ニュースの中から深堀するネタを見つけ、市民に情報を発信していきたい。年に 5 本以上放送出来るようにしたい。

NHK 新潟と連携しニュース 610 に映像も提供している。長野の NHK とも、「ぐるっとふるさと」で連携し地域外にも広く情報を発信している。

「すまいる one」

吉本興業新潟県住みます芸人と市内在住の女性がナビゲータを務める女性視点の情報番組。スタッフも女性中心に構成。

この番組の特徴は、他の CATV 局へも配信を行っている。

現在、信越の 9 局に配信し、上越妙高の情報を広く発信している。

2 週間で 36 回再放送。ネットからも配信。

■上越妙高タウン情報プレミアム会員への見逃し配信サービスから

「みんなで一緒にお出かけ気分」を紹介

コロナ禍でお出かけ出来ない状況の中、番組を見て行ったつもりになったり、Goto キャンペーンなどで出かけるときの参考にしてもらえば、との思いから企画。

なお、番組は通常は 2 週間更新だが、コロナの影響を受けた時は、1 週間更新でティクアウト中心のグルメ情報を放送した。6 月からは通常の更新頻度に戻している。また、地域の飲食店を応援したいとの思いから予算を設け、取材先の飲食店で使用できるチケットのプレゼント企画も行った。（コロナの状況に対応するため使用期限を年末に設定）

番組はこの後、年末の人気企画「ラーメン特集」などを予定し準備を進めている。

「NEXT」

首都圏で夢に向かって頑張っている上越妙高出身者をクローズアップ
地元を離れた人を取材することで、改めて地元への思いを伝え、地域の方には
その人を知ってもらう 地域と首都圏をつなぐ役割も果たしている
若手の世代を中心に紹介し、今後のふるさとへの思いを最後にお聞きしている。
東京の契約スタッフが制作。

■上越妙高タウン情報プレミアム会員への見逃し配信サービスから 10月放送「俵山峻さん」を紹介

高田高校出身の吉本興業所属お笑い芸人。5分の短い尺なのでインタビューと提供された映像などで組み立てている。テレビだけでなく、ネットでの配信も行い広くご覧いただいている。コロナ禍ではリモート取材も行うなど、何とか取材を続けている。様々な職業に就かれているので若い世代にご覧頂き夢を描いてもらえたたら。

「Passion～仕事に情熱」

月に一度制作 企業の思いや姿・仕事の内容などを紹介する15分番組。
コロナの影響で一時取材をストップした時期もあったが、現在は通常の取材を行っている。ニュース取材の中からネタを拾い深堀することもある。
また、東京のスタッフに取材を依頼することもある。現在は個人事業主や零細企業が中心だが、今後は中小企業や大企業にも取材を広げていく予定。商工会議所とも情報交換を行いながら進めている。

■上越妙高タウン情報プレミアム会員への見逃し配信サービスから

「CONOMI」を紹介

番組の影響で現在もマスクが売れ続けているとの声をいただいている。
東京の店舗での取材は、東京のスタッフが行った。

<意見・感想>

横山) NEXTは首都圏、パッションは地元。地元で活躍している人たちを首都圏へ発信する働きかけは?
コロナの影響で首都圏からの移住も増えている。移住された方を取り上げ、首都圏に向けて紹介するのも良いと思う。
佐藤) 今後に向けて検討したい。

大橋) ニュースLiNKでは、どのような特集を?

佐藤) 基本的には、取材で感じ取ったものを特集に。NHK に情報提供している流れもあり、現在もいくつか特集は行っている。コロナの影響で休館していた高田世界館の再開にむけた話題や、子どもたちが商店街に花火の絵をかいて飾るなど、コロナ禍での動きを特集してきた。取材に出ていくスタッフがみつけたもの、感じ取ったもの、熱い思いを形にしたい。今後もそのような情報を拾っていけたら。今は Goto 関係の動きをスタッフが調査している。

関原) コロナの影響で働き方も随分変わった。休みもかなり多くなっている。コロナの中で働いている人向けの番組や情報などがあつても良い。地域の発信だけでは今までと一緒、次の事、JVC だからチャレンジしていることなども紹介出来たら。

佐藤) 長年継続している番組もあり、新しいものを取り入れ、削るべきものは削るなど、番組を見直して検討したい。

直原) 地域の声を吸い上げる仕組みは?

佐藤) 記者クラブに投げ込まれる情報や取材者が現場で拾ってきた情報、直接弊社に情報提供いただく事も。SNS から吸い上げる方法も。

(2) 特別番組

■ 「夏の高校野球 全試合放送」

上越高校の試合を紹介

佐藤) コロナ禍でほとんどの行事が中止になり、振り返る番組を中心の中、夏の高校野球を全試合放送した。高校野球は、2016 年から取り組んでいる。県内の CATV4 局で協力し発信し続けてきた。強豪校だけを取り上げるのではなく、一回戦で敗退する高校も 1~4 回戦をしっかり伝えていこうとカメラを入れるようになった。間に合えば生中継も行うが、ほとんどは録画で放送し、しっかりと見てもらっている。今年は高野連とも連携し、全試合を放送しようと取り組んだ。これまで地域の高校のみだったが、地域出身で地域外の高校で頑張っている選手もいるため、地域外も含め全ての試合、9 会場の試合を放送した。1~4 回戦は収録。準決勝以降はハードエコスタジオに 4 台カメラを入れ、実況だけでなく解説も設けてしっかりと伝えた。

視聴者から DVD での販売を希望されるなどの電話もあり、反響の高さがうかがえた。球場には保護者以外入れない中、撮影し放送することが地元 CATV としての役目。ただ、来年以降、通常の大会に戻った場合、全試合の放送は難しくなるかもしれない。

関原) 保護者が喜んでいた。いつもは強いチームしか出ないが、三年間頑張ってきた子がテレビに出ることはうれしいとの声も。

直原) ダイジェストは放送しないのか?

佐藤) 様々な制約があり、難しい。

(3) その他

<全体を通しての意見>

横山) ネット配信をもっと増やせば若い方も取り込めるのでは。

大橋) 子育て支援の立場から、現役ママたちの声。お子さんを連れて屋内で遊べる場所や安心安全に過ごせる場所などの施設紹介、お家での過ごし方など、コロナ禍での楽しみ方のヒントがあると助かるとの事。ジェイミーが園におじやまする「きらきらスマイル」も好評。また、地域が抱える課題、コロナの状況下で子どもの貧困が問題になっている。シングルや問題を抱えている家庭が利用する

南三世代交流プラザの管理者からは、利用者が減っている中、子どもたちはどのように過ごしているか心配の声も聞かれる。子ども食堂を含め状況を知りたい。

関原) 成人式が中止になった。11月21日に衣装を持参してもらえば、無料で着付けするイベントを行う。JCVさんでも新成人を応援する企画は行わないのか?

福嶋) 成人式の放送を数年前から行っているが、何が出来るか検討したい

直原) 高校三年生は喪失感を抱えている。そのあとの進路は選択肢が多く、どうやって自分の気持ちに折り合いをつけて次のステージに進もうとしているか興味がある。

先生がどのような投げかけをしているかも知りたい。

<事務局から新しい取り組みの紹介>

佐藤) 初めてeスポーツを11月23日に開催予定。試験的な取り組みだが、是非ご覧いただきたい。

沢田) 初のオンラインSAKEまつりの生中継を行う。番組では、日本酒や酒粕を使ったレシピの紹介や、各蔵元のおすすめ酒の紹介のほか、ツイッターでコメントを募集し、その場で杜氏さんへ質問する仕掛けも。オンラインショップや動画コンテンツなどオンラインSAKEまつりへの誘導も行う。

5、閉会

議事録署名人 直原 幹



議事録作成人 上越ケーブルビジョン 沢田真紀

